

給紙トレイを開けると、 CO₂を削減するアイデアが あふれていた。

目立たないところこそ、工夫は隠れている。富士ゼロックスの給紙トレイは、分解設計。汚れの付きやすい取っ手部分だけを取り外せるようつくられています。また、トレイ内の用紙合わせをコーナーからセンターに移動し、用紙交換時の磨耗を軽減。リユース率を向上させることで、CO₂の抑制も実現しました。このような資源循環の取り組みは、日本国内につきアジア・パシフィックの9カ国・地域へ展開。今年1月には、中国全土に拡大し、商品では96%以上、カートリッジでは99%以上の再資源化率を達成します。部品が、グローバルな環境活動の主役になっていく。それらはもはや、「パーツ」で片づけられる脇役ではない。

あらゆる部品に、
環境哲学を。
富士ゼロックス